

生産ラインは6本

Close Up

けんぴん 検瓶

→見学ルート3

店舗から戻ってきた空き瓶は、機械と人の目によるダブルチェックが行なわれる。この工程は、創業当時から頑なに守ってきたスタイルだ。

専門技術者が、集中力を保つため15分交替で担当する

洗瓶機を出たあと、汚れや破損がないか目視検査する



飲料

東京都

予約

¥FREE

人

🎁

🌞

コカ・コーラたまごじょう

コカ・コーラ 多摩工場

大人気のコカ・コーラ
その本場の姿を知ろう

コカ・コーラといえば、明治19年（1886）にアトランタで生まれ、1世紀以上人々に愛され続け、今では世界200カ国で1日に16億本も売られている商品。あまりの人気にさまざまな伝説まで飛び交う、炭酸飲料のスーパースターだ。そんな興味の尽きないコカ・コーラが実際に製造される様子を見学できるのがこの工場。試飲しながらの質問会、大画面での映画や衛生的で迫力ある製造ラインを見たあとは、さらにコカ・コーラが好きになるはず。

ポイントは工場の中にまで入れること。臨場感たっぷりです

CSR推進部
榎本英子さん

敷地は東京ドーム6個分。
290名の従業員が働く



1日の製造本数

588万本!

ここではコーラやアクエリアス、爽健美茶など、100種類の製品が1日に588万本も製造される

生産ラインは6つ。コカ・コーラ以外の清涼飲料も製造する

世界でも有数の生産量を誇る
コカ・コーラの製造現場は
楽しさと驚きがいっぱい

高速の充填機に釘付け



シロアツ 充填

→見学ルート4

ボトルフィラーや缶フィラーと呼ばれる充填機で中身を詰めていく工程。1分間に缶は1500本、ペットボトルは380本、瓶は600本詰めることができる。

2ヶ月分受け付け
Data

MAP P.125 A-2

☎042-471-0463

http://www.tokyo.ccbc.co.jp/

〒東京都東久留米市野火止1-2-9

西武池袋線・東久留米駅から西武バス武蔵小金井駅行、八幡町1丁目下車、徒歩1分 P なし

9:00~15:00 土・日曜、祝日、工場休業日

▶予約方法 電話

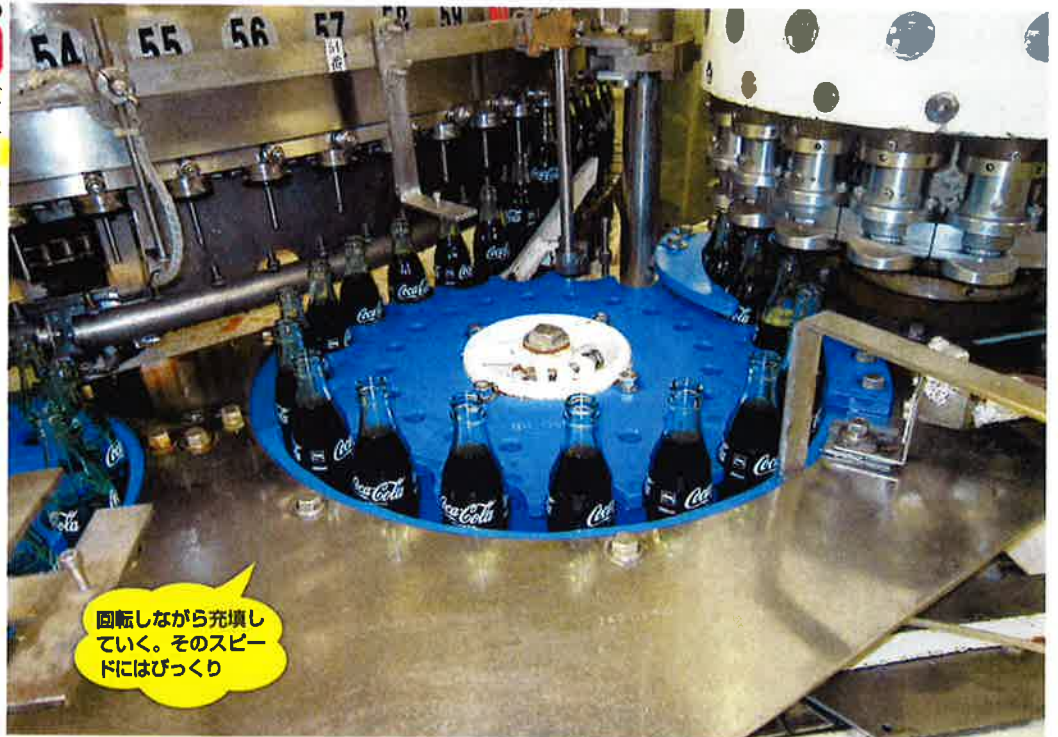
▶受付 5日前まで

▶見学実施日 月~金曜

▶見学開始時間 10:00、13:30

▶見学料金 無料

※見学は2~80名まで



ココにも注目

+αの楽しみで新たな発見。

地球の資源を守るためのエコロジーな取り組み

コカ・コーラ社ではサトウキビからペットボトルを作ったり、リサイクルでユニフォームを作るなど、省資源化にも積極的に取り組んでいる。



↑ペットボトルで作った動物のオブジェ



↑工場のユニフォームもペットボトルをリサイクルして作られている

→見学ルート5

自販機見学

日本全国に98万台、1日に2000万人が利用するコカ・コーラの自販機。この赤い自販機も、昭和37年(1962)の登場から時代とともにどんどん進化している。



自販機を開けて見せてもらえる。中には売上げや賞味期限を管理する端末が

見学コース 90分

①ビデオ鑑賞

瓶入りコカ・コーラを飲みながら、歴史や多摩工場について学習

質問会

→見学ルート1

コカ・コーラや工場についての素朴な疑問を質問できる

製品説明

→見学ルート2

自販機や製品のディスプレイを用いて詳しく解説してくれる

検瓶

→見学ルート3

いよいよ生産ラインへ。検瓶では細かいチェック体制を解説

充填

→見学ルート4

充填機が高速回転し、一本一本が製品になる様子を見学できる

自販機見学

→見学ルート5

普段は見ることのできない自販機の内部を見学することができる

おみやげをチェック

見学の最後にはうれしいプレゼントが。大人にはフェイスタオル、子供にはペンケースが配られる。



知ってナットク 業界ヒストリー

あのサンタクロースはコカ・コーラのキャラクター



当時のポスターが展示されている

白いひげに赤い服と帽子のサンタ。じつはこのサンタが生まれたのは昭和6年(1931)。コカ・コーラのクリスマス宣伝用に描かれたものが「お初」という都市伝説がある。

赤い帽子と服は、コカ・コーラの赤から由来している

